

株式会社ジェイコム東京 多摩局
放送番組審議会 議事録

令和元年(2019年)度 株式会社ジェイコム東京 多摩局 放送番組審議会委員会は、
2020年3月3日(火)立川グランドホテル 3階 ローザで開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

水野 宏一 様
喜連 元昭 様
小町 邦彦 様
宮田 龍之介 様
續谷 信代 様

ご欠席

小延 明子 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】進行：水野会長

■「自然災害の対応」について

委員

コロナウイルスの感染についてもとりあげた直近のテーマについて J:COM への要望はあるか？

委員

コロナウイルスに限らず想定外の自然災害が頻発する中、小回り良く対応できるのが J:COM の役割。
身近な情報を市民は知りたいと思っている。

コロナウイルスに関しても国の方針が変わり、逐一更新する必要があるがリアルタイムで知ることができるのが良い点である。

どの情報を発信していくのかコントロールが課題と考える。

委員

教育に携わる身として、紙だけでなく速報性のある媒体が必要と考えている。

文字の発信はホームページにて可能だが J:COM にはやはり映像での速報性のある発信を期待したい。

事業者

関東、東京の取り組みとして台風時の定点カメラの活用を進めている。

6月頃には国土交通省の河川カメラを使用した情報の発信ができるようになる予定。

より地元の状況を映像だけでなく、河川の水位等の情報もつけて放送する仕様を検討したい。

委員

川の近くに住んでいる人は恐怖を感じているが特に災害発生時に水位等の状況がわからず避難の判断ができなかったため、危機的感覚をいつでも持っていられるようにタイムリーに状況がわかるようになるとよい。

また土砂災害等の被害にあった地域が災害発生後どれほど復旧しているのかわからない。

通行止め等の情報は近隣地域の情報も放送してほしい。

事業者

台風時の災害特別番組の際には地域の通行止め情報等は放送していた。

特別番組が終わりデイリーニュースに切り替わった時はエリア外の放送はしていなかった為、復旧状況等に関して発信する情報のエリアを、どの範囲まで広がるかは議論が必要と考える。

委員

リアルタイムに発信できている点は良い。

台風で帰宅が困難だった際、市内の情報だけでなく近隣の災害情報も知りたいと思った。

地域の情報は大手メディアに出ておらず、信ぴょう性の低い SNS の情報しかなかった。

災害後に判断の目安になるような近隣の情報があれば更によかった。

業者

今回の台風後の情報に関しては地元の情報を優先してきたが、市民の方は市外に勤務等している人もいたのでどこまで対応するのか検討したい。

立川市から都心へ通勤している人も多く都心も範囲に入れるべきなのか社内でも議論に上がる。

他メディアでは出ないより細かい地域を範囲とできるように今後検討していく。

委員

新型コロナウイルスの影響で実施予定だったイベントが数日前に中止を決定したが、不特定多数が参加のイベントだったため中止の告知が難しかった。

ホームページでの告知は実施したがこういう場合に J:COM を活用するべきだったと感じた。

■番組編成について

委員

番組の内容も年々充実してきているが、いろいろな情報を伝える一方通行の発信になっているように思う。

地域に根差したテレビ局として視聴者と双方向なものがあっていいのではないのか。

例えば地域の防災をどうしたらいいのか討論しそれを行政に伝えたり、子育ての件を話し合っ行政に繋がたりというものもあっていいのではないのか。

事業者

3.11 の際に防災関連の方に来ていただき討論会を実施した過去もある。

番組内容を考える上で今後視聴者参加型の番組を検討したい。

他社との差別化のため、地元市民に参加してもらい市民が発言できる場を提供していきたい。

委員

色々大きなテーマもあるが、声なき声を発掘し聞くことも地域メディアとしての役目なのではないか。

■地域イベントとの関わり方について

委員

イベントはより良いものを作ろうと資金繰りが苦労する点。

特に東大和市はお祭りの会場も規模も小さいが、年々知名度が上がりたくさんのお客様がご来場いただけるようになった。

今後ネーミングライツ等で地元企業と関係を強化していきたい。

事業者

特別番組を放送するにあたり地元企業に協賛いただいていることもあり、今後は番組として PR に貢献するとともに運営から関わって盛り上げていければと思っている。

■番組の仕立てについて

委員

中学生駅伝の放送がレースの模様を中継するだけでなく、取材に基づいて様々なエピソードを紹介したり SNS で集めた応援コメントを紹介したり「ど・ろーかるアプリ」と連携したりと立体的に盛り上げているのがとても良かった。

他のイベント特番にノウハウを活かしていけるのではと思う。

また、もっと地域メディアとしての特徴を活かしメッセージを含めた発信ができれば良いと思う。

大手メディアが取り上げられないような、地域の小さいコミュニティで日々奮闘していることを取り上げていてほしい。

事業者

メディアとしての責任として重んじて活動していく。

TV の信頼性、公共性をどのように伝えていくべきなのか。

今まで通りのやり方だと昔ながらになってしまうのでイノベーションを起こしつつ地域に伝えていくことをミッションにしていく。

委員

各地域の様々な特色を生かして放送しているが、特に立川市の小学校でベラルーシの給食が出たことを放送したのが地域密着という意味で良かった。

ユニークなことを実施している地域は他にもあるが、地元地域と比較し切磋琢磨する良いきっかけになり得る放送だった。